

## 2. 房 総 の 偉 人

この人々は、千葉県が生んだ偉大な先覚者たちの中から、県がとくに選んだ17人です。(生年順による)

日 蓮 (1222～1282)

安房郡天津小湊町出身。日蓮宗の開祖。立正安国論を説いた人。

菱川 師宣 (不詳～1694)

安房郡鋸南町出身。浮世絵版画の創始者。

青木 昆陽 (1698～1769)

山武郡九十九里町と千葉市幕張町で甘藷を試作し、その普及にも努め、大凶作を救った。

伊能 忠敬 (1745～1818)

山武郡九十九里町出身。18才にして佐原の伊能家を継ぐ。日本最初の実測地図を完成した人。

大原 幽学 (1797～1858)

世界最初の産業信用組合をつくり、農民教育と農村改革を実践した。

堀田 正睦 (1810～1864)

佐倉市出身。佐倉藩主。幕末の進歩的的老中として明治開花に多大の貢献をした。

佐藤 舜海 (1827～1882)

香取郡小見川町出身。医家。順天堂病院を創立。東大医学部前身の大学東校主宰者。

西村 茂樹 (1828～1902)

佐倉市出身。佐倉藩の執政。明六社をおこし進歩的文明評論で世を指導「国語辞典」「故事類苑」を編さん。

柴原 和 (1832～1905)

千葉県初代県令。当時の日本三県令の一人。教育に力を入れ、千葉大学医学部の基礎をきずいた。

佐藤 志津 (1851～1919)

佐倉市出身。情熱の女子教育家。東京女子美術学校初代校長。佐藤高等女子学校を設立。

坪井 玄道 (1852～1922)

市川市出身。教育家。学校体育の基礎を確立した人。

石川 倉次 (1859～1944)

市原市南総出身。教育家。フランスの盲人ルイブライユの考案した点字を50音式に翻案した人。

伊藤左千夫 (1864～1913)

山武郡成東町出身。近代歌壇の巨匠。短歌「アララギ」の発刊を主宰。

津田 梅子 (1864～1929)

女子教育の母。わが国最初的女子米国留学生となる。今日の津田塾大学を創立した。

白鳥 庫吉 (1865～1942)

茂原市出身。歴史学者東大名誉教授「満州歴史地理」「朝鮮歴史地理」をあらわした。

鈴木貫太郎 (1867～1948)

東葛飾郡関宿町出身。海軍大将。第2次大戦終末時の首相。

国木田独歩 (1871～1908)

銚子市出身。詩人。作家。自然主義文学の重鎮。「武蔵野」「牛肉と馬鈴薯」等の著書がある。